

コーポレート・ガバナンス

お客様や社会から信頼される企業であり続けるために、
コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。

サントリーのグループ経営体制

サントリーグループは、「グループ経営」と「業務執行」を分離させる純粋持株会社制によるグループ経営体制を導入しています。グループ企業理念「人と自然と響きあう」を実現するには、社会から信頼され、必要とされる企業グループでありつづけなければなりません。そのために、経営の効率性を高め、地域社会やお客様、お取引先などの各ステークホルダーとの良好な関係を保ち、また企業としての社会的責任を果たすため、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。

●グループ経営を担う各種会議体

サントリーホールディングス(株)の取締役会は、8名で構成され、グループ経営に関わる課題の意思決定を行うとともに、グループ各社の業務執行を監督する役割を担っています。取締役会のもとには、トップマネジメント層から構成される「グループ経営戦略会議」をおき、グループ全体の経営課題を具体的に検討・協議することで、効率的かつ効果的なグループ経営を運営しています。

また、執行役員制度を導入し、迅速な意思決定と業務執行を実現する体制を整えています。

●経営を監視・監督する監査体制

サントリーホールディングス(株)の監査役会は4名の監査役で構成されており、うち2名が社外監査役です。監査役会は、取締役の業務執行をはじめ、内部統

制システムの整備状況、グループ経営全般に関わる業務執行状況について監査しています。加えて、外部監査法人が会計監査を実施し、会計や会計に係る内部統制の適正性および適法性について、第三者の立場から検証しています。

また、グループ各社の業務執行状況などを監査・検証する内部監査部門として「グループ監査部」をおき、社内規定に基づいて、業務執行の適正性および健全性の維持に努めています。

●内部統制システムの強化

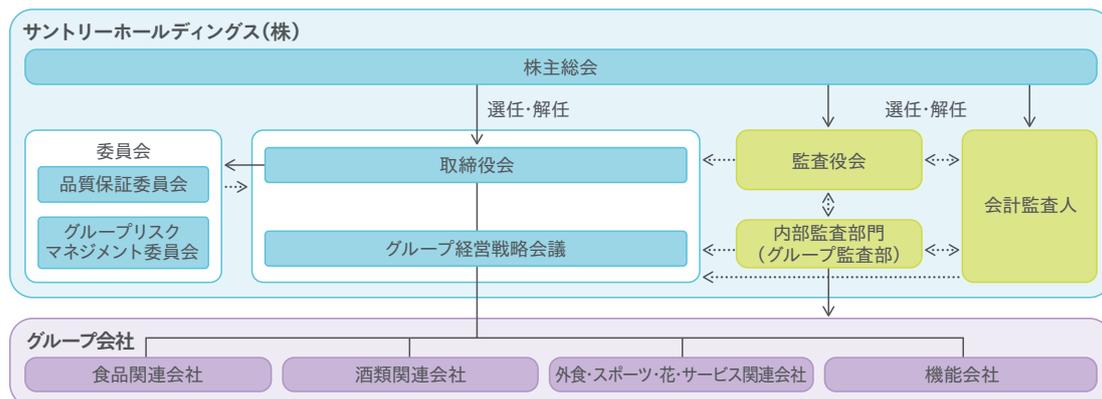
サントリーホールディングス(株)の取締役会で「内部統制システム構築の基本方針」を決議しており、コンプライアンスや情報管理、リスクマネジメントなどの取り組みを強化することで、より実効性のあるガバナンス体制の構築をめざしています。

●CSR経営の推進

サントリーグループのCSR経営を推進するために、専門部署であるCSR推進部を設置しています。CSR推進部では、サントリーグループ全体に対し、CSRビジョン「水と生きる」の啓発活動を行っています。この啓発活動を通じて、グループ社員一人ひとりの意識向上と、各社の環境保全や文化・社会貢献などの活動推進につなげています。

また、企業統治上重要なCSR課題については、各専門委員会にて関連各部と連携しながら、グループ全体で組織的に課題解決に取り組んでいます。

●コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス／リスクマネジメント

お客様や社会の期待に応え、事業を継続的に営んでいくために、グループ横断的な体制を整備しています。

「企業倫理綱領」に基づくコンプライアンス推進

サントリーグループの全従業員が共通の価値観をもち、共通の基準で行動できるよう、2003年に「サントリーグループ企業倫理綱領」を制定しました。この綱領に基づき、グループ横断的な視点からコンプライアンス推進体制を整備しています。

● ホットラインの運用

企業倫理綱領に反する行為を早期に発見し解決するため、グループ共通窓口としてコンプライアンス室と社外法律事務所に「コンプライアンス・ホットライン(内部通報制度)」を設置。また、国内グループ18社が社内に独自の窓口を設けて運営しています。2010年は、労務・人事に関する相談内容など、グループ全体で105件の通報がありました。通報案件に対しては、コンプライアンス室やグループ各社内担当部署が当該案件関係者すべてのプライバシー保護に配慮した調査のもと是正勧告などの対応を行い、さらに、問題の改善や再発防止策が徹底されていることを確認しています。

● コンプライアンス浸透・定着のための活動

コンプライアンスの浸透・定着のため、グループ社員に向けた各種研修やイントラネット上での情報発信などを継続的に実施しています。2010年はメンバー層に向けての周知活動に力を入れました。今後は海外グループ社員に向けた情報発信も強化していきます。

さらなる定着をめざして浸透度調査を実施

グループ国内全従業員を対象とした「コンプライアンス浸透度調査」を隔年で実施しています(2010年6月に実施)。その調査結果から、全社および各部、各部門の個別課題を把握し、施策の充実に努めるとともに、今後の取り組み改善につなげています。

2010年

- 研修や意識調査を実施し、グループ全体でのコンプライアンス推進強化
- 業務遂行上の重要リスクに関するグループ全体のPDCAサイクルの維持・促進

トータルリスクマネジメント体制

サントリーグループのリスクマネジメントは、グループ各社ごとに業務執行レベルでの自社管理を原則としています。一方で、全社横断的なトータルリスクマネジメント体制を強化するため、「グループリスクマネジメント委員会」と「品質保証委員会」を設置し、リスクに関する課題解決に取り組んでいます。

● グループリスクマネジメントの強化

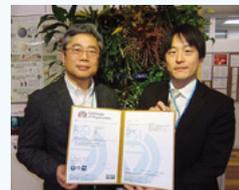
「グループリスクマネジメント委員会」は、コンプライアンス、情報セキュリティ、大規模災害、その他全体的な重要課題について、グループ全体に対するリスクの分析・評価を行います。さらに、全社最適の観点からリスク対策の強化を図っています。

● 品質リスクへの対応を強化

安全・安心な商品・サービスを提供することが最も基本的な責務であると認識し、「品質保証委員会」を設置。サントリーグループ全体における品質リスクの抽出・低減を図るとともに、情報開示の推進に取り組んでいます。

情報セキュリティ認証の取得－サントリーウエルネス(株)

2010年12月、サントリーウエルネス(株)は、情報セキュリティ認証「ISO27001」を取得しました。これにより、健康食品・美容商品の通信販売事業を行う同社において、数百万件のお客様情報を、高いセキュリティレベルで管理していることが証明されました。



ISO27001の登録証

2011年

- グループガバナンスの継続強化
- グループを包括したコンプライアンス推進活動、グループ各社への支援を強化
- 国内外グループ全体のリスクマネジメント体制のさらなる基盤強化